

環境県民フォーラムだよ！

VOL. 32 2013年10月1日 発行



第15回奈良県環境フェアを開催しました！

4月6日(土)～7日(日)、奈良県文化会館2F小ホールにて、広く県民へ地球温暖化防止をはじめとする環境全般の取り組みや情報発信を行うとともに、奈良県内の多様な主体や県民が交流・連携を図るため、奈良県・奈良県環境県民フォーラム・奈良県地球温暖化防止活動推進センターが協力して、第15回奈良県環境フェアを開催しました。

今回は初めての試みで、「奈良県“暮らし”と“環境”フェスティバル」(奈良新聞社主催)内での開催となり、国際ホールでのエコライフトークやゆるキャラショー、吉野の木の家たいけん館や屋外での環境に優しいe級グルメの祭典、e-1グランプリ、などとの多彩な催しとのコラボレーションでの環境フェアとなりました。

当日は残念ながらあいにくの雨模様でしたが、会場では早朝から実行委員会のみなさんを中心に各団体の多くの方々との協力により、各団体・分科会の昨年度取り組んできた活動事例紹介やパネル展示、体験コーナーや省エネ相談コーナー、また今回は目玉コーナーとして“おもちゃ病院”、更にはステージ上を利用しての“タイの子ども達による水辺絵画”などを出展・展示し、日常生活における“もったいない”をコンセプトにストップ温暖化・環境保全の大切さを広く県民にアピールしました。両日とも雨の影響で全体的に来場者の出足は鈍かったものの、当環境フェアコーナーは親子づれや子ども達でおおいに賑わいました。

例年に比べ開催時期がずれて4月になったこともあり、当初予定していた恒例の小中学校環境取り組み発表会は出来ませんでした。それに代わるステージ上での“タイの子ども達による水辺絵画展”は大好評で、絵の上手さや色使いの鮮明さもさることながら、自然(森や川)や動物(像)と共生した子ども達の日々の風景が、見事に描写されており多くの感動を呼びました。

また目玉コーナーとして初めて参加頂いた“おもちゃ病院”は、事前の宣伝不足と悪天候等の影響で依頼件数が予想より少なく、様々な修理道具や機材を準備し、ご参加頂いたおもちゃドクターのみなさんには、腕の見せ所が少なく、申し訳ありませんでした。しかし、県民フォーラム会員との情報交換や交流はおおいに出来、今後の5Rリペア活動につなげていければと思います。

2日間にわたり、今回は初めての試行も多く、また悪天候にもかかわらず、各分科会とも例年以上に多くの参加者があり、各展示コーナーや体験コーナー等で大活躍を頂きました。例年の環境フェアに比べ展示スペースも少ない中での開催でありましたが、逆に一つの会場にまとまって、手作り感もあってとても良かったとの感想も頂いております。

ご来場いただいたみなさまをはじめ、ご協力いただいた多くのみなさまに環境フェア実行委員会より、心からお礼申し上げます。
(環境フェア実行委員会 遊津)





平成25年度総会を開催しました！

去る4月23日、奈良県文化会館で奈良県環境県民フォーラムの平成25年度総会が開催、34団体 50 名余りの会員が出席されました。総会では、代表委員である松村佳子奈良教育大学特任教授が議長となり開会の挨拶をされました。松村代表委員は奈良県環境県民フォーラム設立当初から委員を担当していただきました。松村代表は「奈良県環境基本条例が平成8年12月に制定され、この推進のために平成9年8月から奈良県環境県民フォーラムがスタートしました。既に16年の歴史があり、奈良県の環境行政と市民、事業者、団体が連携しながら推進する役割りを果たしてきました。更に今後は奈良県環境総合計画の推進を図るために連携が益々必要になっております」とご挨拶されました。

次に、来賓として奈良県景観環境局 上山幸寛次長から「今後もフォーラムと連携し、奈良県の環境行政の推進を図ってまいりたい」とご挨拶をいただきました。また本フォーラムの運営を担っていただいている環境政策課の中川貴善課長を紹介しました。



楠下新代表（奈良環境カウンセラー協会）

次に昨年度の事業報告、収支決算報告の後、10人委員会委員等の改選が行なわれました。また代表委員の交代があり、奈良環境カウンセラー協会の楠下孝雄氏が新代表に選出されました。また同時に平成25年度の事業計画及び予算が承認されました。楠下代表は「このフォーラムのつながりを通じて各地域での優れた環境活動を県内全域に広げる事も可能です。メンバーの情報や交流を深めてより一層環境に配慮された奈良を育てていきましょう。特に奈良は奈良公園、春日山原始林、明日香、吉野、熊野古道をはじめ世界遺産に恵まれた自然豊かな貴重な地域です。この点でも奈良県環境県民フォーラムのネットワークをベースにして、より一層環境に配慮した地域づくりを推進しましょう」と挨拶されました。

総会后、記念講演として奈良県くらし創造部 景観環境局 環境政策課の芳川係長から、「奈良県の環境政策に係る基本指針について」というテーマで説明があり、今後5年間に県が取り組む環境施策が紹介されました。施策の一つには、「参加と協働による環境保全への取り組み」が挙げられており、16年目を迎える環境県民フォーラムの活動がますます重要となっていることがうかがえます。

また、基本指針では「豊かな自然と優れた歴史との共生、美しい景観と持続可能なくらしの創生」を基本理念とし、「①奈良らしい景観の保全と創造、②清流の保全と復活、③低炭素社会の実現、④循環型社会の構築、⑤生物多様性の保全」の5つの柱を基本目標として、施策を展開する事としています。

なお、計画の推進体制としては、環境保全活動を積極的に行っている県民団体や事業者等で構成され、県の環境保全活動の先導的役割りを担っている「奈良県環境県民フォーラム」等との積極的な意見交換を行うと共に、県民事業者等の自発的な活動の推進を図ることによって、県民、事業者、行政が一体となった環境保全活動を推進する事としています。

これらの活動を支援する連携の仕組みづくりとして「奈良県環境県民フォーラム」の組織的な取り組みが今後、益々重要となってきます。

また、環境負荷を与えているのは他ならぬ私たちの日常生活のあり方です。私たちの日常生活や活動が、様々な環境に影響を及ぼしている事を理解して、どうすれば環境への負荷を少なくし、また改善できるかを学び、体験して気づく事が大切です。奈良県環境県民フォーラムでは10人委員会及びエネルギー、資源活用、自然環境、エコライフの各分科会活動を通じて具体的な改善事項について学びながら環境負荷のより少ないライフスタイルへの転換を推進しています。

一人ひとりでは難しいことでもお互いの協力と連携により新たな取り組みが出来るよう進めていきたいものです。今後さらに皆様方のご支援とご協力をお願い致します。

（代表委員 楠下孝雄）



講演「奈良県の環境政策に係る基本指針について」

エネルギー分科会

平成25年度分科会活動計画について

エネルギー分科会では、環境県民フォーラムの全体事業である「エコな～らライフ宣言」を担当しています。皆様もご家庭で省エネ行動の中から自分でできるものを選んで、「エコな～らライフ宣言」への参加をよろしくお願いいたします。宣言いただいたものは集計し、1000な～らで1本の苗木を植樹しています。今年も11月に野外活動センターにおいて、植樹イベントを計画しています。今年度の開催日は、11月17日(日)・場所は、奈良県立野外活動センターにて行います。

そして、2014年1月頃には、環境にやさしいエコライフの提案と推進を目的に「鍋帽子を使ったエコクッキング」を開催する予定です。今後の行事については日程が決まり次第、別途ご案内をいたしますので多数のご参加をよろしくお願いいたします。

(大阪ガス(株) 松本)

自然環境分科会

自然環境セミナーを開催しました! ~「いのち育む大地の恵み」世界遺産・春日山原始林に学ぶ~

平成25年4月20日(土)、奈良ロイヤルホテルにて「自然環境セミナー(奈良県環境県民フォーラム自然環境分科会主催事業)」を開催し、約30人が参加されました。

セミナーは「アースデイ奈良 2013」と共催で企画されたもので、枚岡神社宮司(春日大社元権宮司)の中東弘氏を講師に迎え、「いのち育む大地の恵み」世界遺産・春日山原始林に学ぶと題し、市街地にある原始の森、生物多様性の宝庫として世界に誇る貴重な観光資源であること、その一方で照葉樹林の更新不良や外来種の拡大など放置すれば衰退するという課題の両面について、講義していただきました。

中東さんは「大和川の源流である春日山には要所、要所に山の神が祀られているように、私たちの祖先は命の湧き出る山を聖域とすることで豊かな自然環境を確保してきた。しかし現代はそれを瞬く間に破壊しようとしている。地球は大きな川を大動脈としてひとつに繋がった美しい生命体。毛細血管である小さな川が汚れば病気になる。鎮守の杜の縄文文化、稲作の弥生文化に培われた自然と共生する知恵を今こそ見直すべき」などとお話されました。

(ほっとねっと 寺前)



エコライフ分科会

平成25年度分科会活動計画について

エコライフ分科会は、水環境を対象に河川での環境学習や環境啓発活動に取り組んできました。皆様のご努力下、例えば大和川の水質は年々改善されています。しかし、支川別での改善はまだ必要で、地域ぐるみの生活排水対策が不可欠です。当分科会では平成25年度も、各家庭でのアクリルたわしの活用をPRするなどの啓発活動を通じた、生活排水対策を推進します。一方、水は生命・健康の根源でありますので、その気付きを持ってもらう活動を始める予定です。水田という水環境を対象として、例えば赤とんぼなど水田のビオトープに着目し、生態系や健康への影響に気付くなどの活動を進める考えです。皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

(奈良環境カウンセラー協会 吉田)

資源活用分科会

「新奈良県廃棄物処理計画」の学習会・エコ見学会を実施しました。

資源活用分科会では、今年度から新しいメンバーも加わり、新たな活動に取り組んでいます。

5月31日には例会の前に奈良県廃棄物対策課の榊田課長より、「新奈良県廃棄物処理計画」についてお話しいただきました。不法投棄は廃棄物許可業者より一般の人が行っている可能性があることや、家電を無料で回収している事業者の大半が

無許可で、それらが不法投棄の温床になっている可能性のあることなどが懸念されることでした。また7月16日はエコ見学会として、安田産業グループの(株)大剛 長岡京工場と京都有機資源(株)エコの森京都を見学しました。同グループは、廃棄物を再び資源として還元していく「循環型社会」、二酸化炭素の排出量を抑える「低炭素社会」、そして自然と共に歩いていく「自然共存社会」を目指しているとのこと。空き缶やペットボトル、生ごみなど、多様な廃棄物(原料)に対応できるリサイクル工場でした。その後「京エコロジーセンター」の見学もでき、一層エコについて考える1日となりました。

(市民生活協同組合ならコープ 渡辺)



イベント情報

資源活用分科会「エコ見学会」を行います。

日時：平成25年11月 5日（火）12時30分～15時00分
（天候等の事情により日時を変更する場合があります。）

場所：大阪湾広域臨海環境整備センター（通称：大阪湾フェニックス）

内容：私たちの廃棄して生じる“ごみ“はどのように処理されているのでしょうか。同センターの埋立処分場を見学し、学びます。

関心のある方は、是非ご一緒下さい。

参加費：なし（但し、現地までの交通費等は各自負担となります。）

集合場所等詳細は、下記事務局までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先：環境県民フォーラム事務局（奈良県環境政策課内）
（0742-27-8732 担当：長尾）



自然体験教室～明日香の未来プロジェクト～

『稲刈り体験&棚田の自然学習会』

概要：棚田百選にも選ばれた稲渚の棚田で「稲刈り」を体験し、棚田における生物多様性を学びます。
県内外を問わず先着50組（100名）古代米の昼食と枝豆のお土産付き。

日時：10月27日（日）10:00～15:00頃迄（集合は現地に9:30）、小雨決行（但し、警報発令時などは中止）

場所：奈良県高市郡明日香村大字稲渚593-1「憩いの館前」

参加費：大人 1名 2,000円（枝豆付）、小人（小学生以下）1名 1,000円（3才以下無料）
（保険料含む。当日現地で徴収します。）

持ち物：長靴・軍手・カッパ・シート・タオル等持参。服装は汚れてもいいもの。
（鎌などの用具はこちらで用意します。）

定員：県内外を問わず先着50組（100名）

申込み：FAXで住所、氏名、参加人数 大人〇人・小人〇人、電話番号を記入の上、下記まで

【NPO法人明日香の未来を創る会】 電話 080-1461-5492(10:00～17:00)

FAX 0744-54-2145 URL: <http://www.asukamirai.org/>



新入会員の紹介

新入会員として学識経験者に
奈良女子大学名誉教授・大石 正さん
をお迎えしました。



賛助会員募集

奈良県環境県民フォーラムでは、賛助会員として活動を支援いただく企業、団体等を募集しております。
当フォーラムの活動をご理解いただき、賛助会員としてご支援下さいますようお願い申し上げます。

特典

1. 広報誌「フォーラムだよ！」等刊行物をお届けします。
2. ホームページに随時氏名（ご希望の方）を掲載いたします。
3. 主催事業（エコクッキングなど）やイベント等の情報提供させていただきます。

編集・発行：奈良県環境県民フォーラム

事務局：〒630-8501 奈良市登大路町 30 番地 県環境政策課内 TEL:0742-27-8732 E-mail:kankyo@office.pref.nara.lg.jp

やまと菜の花ねっと

菜の花・橘だより 夕月夜 心もしのに 白露の 置くこの庭に こほろぎ鳴くも

白露光る美しい月夜に虫の鳴き声を楽しむ季節となりました。

さて県民フォーラムで始めた菜の花栽培もこの秋から 10 年目を迎えます。やまと菜の花ねっとでは、今年は統一ブランドの菜種油を約650本作ることが出来ました。また、ほとんどのフィールドは菜種も新たに購入し、雑種の混ざらない純正菜種で栽培いたします。新しく菜の花や橘の栽培を始める「やまと菜の花ねっと」の関連団体・個人もあり、ネットワークの広がりはますます大きくなってまいりました。今年は菜の花プロジェクト・橘プロジェクトともに、新たな飛躍への基礎固めの年となりそうです。

「やまと菜の花ねっと」の代表に大石氏就任！

先日、大石正氏(奈良女子大学名誉教授)の代表就任を決議いたしました。大石氏は元奈良佐保短期大学学長であり、昨年までの5年間は郡山フィールドの推進する「菜の花プロジェクト」の代表として、同大学の学生等を率いて同プロジェクトを支えて来られました。ご専門は主に「生物と環境との関わり」等についての研究です。奈良県全体にまたがる8団体の各菜の花プロジェクトチームのネットワーク組織である「やまと菜の花ねっと」の代表として、菜の花プロジェクトと橘プロジェクトを強く結びつけ、ネットワーク全体で持続可能な循環型社会構築のモデルづくりを行っていく推進役・調整役として、手腕を発揮して下さることと確信しております。

奈良フィールド(北永井7a、佐保山7a) NPO 法人宙塾 Email: ohzorajuku@gmail.com FAX: 0742-93-4785



薬師寺に菜種油を奉納

市内8校の小学校・幼稚園での脱穀・搾油体験は、保護者や地元ボランティアのお手伝いも盛んになり、最も華やかな行事の一つとなっております。例えば六条幼稚園では20人の保護者ボランティアが集まり、幼稚園児がやりきれなかった細かな作業をフォローしてくださいました。7月8日には恒例の薬師寺への菜種油の奉納式を行い、脱穀を手伝った保護者たちも参加しました。秋には菜の花移植と共に、薬師寺・垂仁天皇陵・大極殿等を巡るサイクリングツアーを実施する企画を考えております。環境と歴史を自分たちが守っていくのだという意識を高めるような環境教育プログラムをこれからも提供し続けたいと思っております。

郡山フィールド なら橘プロジェクト推進協議会

Email: jyo5084@yahoo.co.jp FAX: 0743-59-0295

橘を通して人の輪が大きく広がっています



垂仁天皇陵を背景に花を着けた復興ヒマワリ

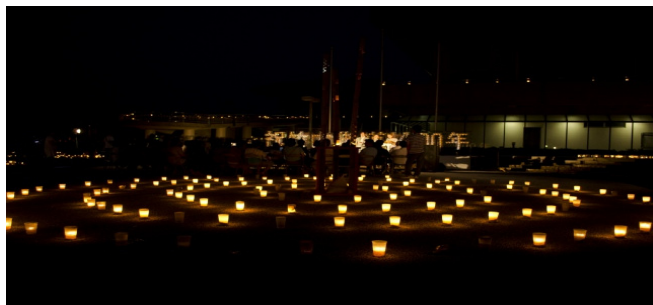
奈良の橘プロジェクトの他にも、関西を中心に活動をされているKNSの皆さんが「橘街道プロジェクト」を進められています。6月15日(土)には「橘」の著者である吉武利文さんを講師に招いた研修会が明日香村で開催されました。また、沼津市や鳥羽市などでの橘の取り組みも報告され有意義な情報交換が行われました。「橘」は不思議な力を持っており、人の輪が広がり元気を与えてくれるように感じます。海外ボランティア活動をされている「サロン・ド・サラサラ」を通しては、東日本大震災の被災地である陸前高田市の「たねっこまくべえ会」からヒマワリの種子をいただき、復興への願いを込めて尼ヶ辻フィールドでも育てました。約100本のヒマワリが元気に花を着けました。大和郡山市発志院と奈良市尼ヶ辻での菜種の収量は合わせて約100kgでした。

今年は、大阪と奈良を結ぶ「竹内街道」が敷設されて 1400 年の記念の年にあたり、街道沿線の市町村ではいろいろと行事が開催されています。葛城市では、それを記念する「竹内街道灯火会」が、8月11日(日)にあり、その第2会場として、NPO法人エコ葛城市民ネットワークが主催する第3回キャンドルナイトの集いを行いました。廃食油から作ったエコキャンドルを約 3,000 個作り、それを会場一面に造形し、約 1500 人の参加者が、幻想的な空間を見つめ、その素晴らしさに感嘆の声を上げていました。そのキャンドルがゆらめく中でのウクレレやお琴と尺八のライブも盛り上がりました。また、4月20日(土)には、第3回菜の花まつりを開催しました。今年は、菜の花の開花が早く、満開を過ぎた菜の花のもとでの開催となりました。サブ会場の菜の花畑までの約 2.5 キロの道を「菜の花ウォーキング」と称して参加者と一緒に行きました。途中の菜の花畑では、菜の花迷路を作ったり、終点の菜の花畑では、菜種油の天ぷらやそば茶を振舞いました。メイン会場では、パネル展や活動発表をしたり、さらに、今年は、十津川温泉の足湯やミニ動物園と盛りだくさんの催しをすることができ、約 500 人が楽しんでくれました。

NPO法人エコ葛城(会員数 37 人)では、菜の花まつりもキャンドルナイトの集いも「資源の循環利用」をテーマに開催をしています。このイベントを通じて、参加者が、環境のことを身近に考える機会になればと活動を行っています。



4月20日 菜の花祭り



8月11日 キャンドルナイトの集い

明日香村フィールド 20a 明日香の未来を創る会 連絡先は記事に記載



6月に種落しをおこないました。

NPO法人 明日香の未来を創る会は、18年前に明日香村で始まった棚田オーナー制度(棚田ルネサンス実行委員会)がその前身で平成22年に法人化された組織です。棚田の景観・環境を保全すること、子供の健全育成を図ること、経済活動の活性化等を目的として、さまざまな活動を行っています。

菜の花PJは、平成24年から始まり今年が2年目、6月に収穫の喜びをはじめて経験しました。なたね油の収穫量は約30kg、今後いろいろなイベントで活用して行く予定です。稲刈(イフチ)棚田を、稲、ひまわり、菜の花やコスモスで一年中賑やかにしようと、この6月に畑地を35aに広げました。菜の花PJの各フィールドの皆様には大変お世話になり、改めてお礼申し上げます。

明日香村フィールド: 明日香の未来を創る会連絡先
080-1461-5492(理事 打越)k-uchi1@hotmail.co.jp

※紙面の都合上4フィールドのみの掲載となりました。その他の「やまと菜の花ねっと」の連絡先を下記に示します。

田原本フィールド 10a NPO 法人ほっとねっと 寺前 TEL・FAX:0742-94-6800

桜井フィールド NPO 法人さくrai菜の花プロジェクト西田 Email: hideko.nishida@gmail.com FAX :0744-41-0317

御所フィールド未来の環境を考える会 市環境政策課 神谷 TEL:0745-66-1087

天理フィールド環境市民ネットワーク天理 事務局長: 中島 TEL:090-3487-9556